

秋の叙勲・褒章 おめでとうございます。

十一月三日付で発表された秋の叙勲で新 藻三さん(東町)と山本泰郎さん(天萬)が瑞宝双光章を受賞されました。同じく雑賀愛子さん(高姫)が緑綬褒章を受章されました。



瑞宝双光章を受章 新 藻三さん

新さんは昭和二十七年に西郷測候所に採用されて以来四十年にわたり気象業務に携わりその功労に対し受章されました。「気象の任務は、農林漁業すべての仕事に頼りにされ基礎となるものだと考えます。陰ながら皆さんの仕事の手助けをしていると思いますながら勤めてきた。」と話されました。



瑞宝双光章を受章 山本泰郎さん

山本さんは昭和二十八年に旧手間村消防団に入団していらい班長、分団長等を歴任後、昭和五十八年から平成五年までの通算十年間にわたり会見町消防団団長として、みことな統率力を発揮し、住民の生命・財産を火災等から守り、公共の福祉の増進に寄与されたことに対し受章されました。



緑綬褒章を受章 雑賀愛子さん

雑賀さんはボランティア活動による社会奉仕に対する功労で受章されました。昭和五十五年に社会福祉協議会から『独居老人に正月のおせち料理やお餅を作ってあげてほしい』と依頼を受け数人の仲良しグループで引き受けられたのが活動を始められたきっかけでした。「楽しく仲の良い友人に恵まれ今日まで活動が出来た。健康である限り歳に合ったボランティアに参加していきたい。」と語っておられました。

「おはなし・ドン」に表彰

町内外で絵本の読み聞かせや人形劇の活動をされているボランティア団体の「おはなし・ドン」に社団法人読書推進協議会からその取り組みに対し、十一月三日に表彰状が贈られました。「おはなし・ドン」は町内の女性有志で平成十二年に結成され、各地の学校や福祉施設などで活動が続いています。「本好きの子どもを増やし、心豊かな人間に育ってくれる手助けになればいい」と代表の角田敦子さんは話されました。



人形劇 いなばの白うさぎ